

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
6日	大教会ひのきしん (岡・岡谷・眞世・南洲)
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん(道弘)
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん(相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん
	大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡秋)
22～23日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23～26日	婦人会詰所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん (東松浦・西北)
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おぢば伏せ込み団参

▼その他の行事予定▲

12月
14日 大教会大掃除
15～20日 青年会ひのきしん隊入隊
27日 ご本部お供えお餅つき

1月
1日 大教会元旦祭
5～7日 ご本部お節会
23日 婦人会バザー
25日 おぢば伏せ込みひのきしん
26日 教祖百四十年祭
28日 天理教婦人会創立記念の日

教務報

◆教養掛

12月 天神免 武藤 聡宏
1月 伊萬里 森川 善紘
2月 住之都 江里 道孝

◆教長資格検定講習会前期修了者
(10月27日～10月31日)

貞元 佐々木 孝吉
福門 村田 弘子
福門 河野 正代
別席願(10月16日～11月15日受付分)
表時 玉木 蓮
住之都 佐藤 直哉
岡村 沖中 計三



立教189年1月26日、教祖140年祭がご本部で勤められます。
教祖年祭は、全教が教祖の親心にお応えする10年に一度の大切な節目。私たちは、この日を目指して三年千日を仕切って、教祖のひながたを手本に陽気ぐらしの教えを実践し、成人の歩みを進めてきました。
さあ、いよいよ教祖年祭目前です。心一つに、おぢばへ帰らせていただきます。

立教一八八年 十二月号(十一月二十三日発行)
岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
188.11.23 / 076

TOPIC

お道の皆さんの支援で笑顔が戻る
今後は地域コミュニティー支援へ

最大震度7という大きな被害を受けた「能登半島地震」発生から、約2年。大教会としても被災地へ支援に出

向き、「こどもおぢばがえり」期間中には、詰所で開催する「ふれあい広場」に被災地のこども達を招待するなど、さまざまな活動を展開してきた。



▲今回の講話は、リモートを活用して進められた。

今もなお、現地では支援活動が展開されているが、どのような状況で、今後はどのような支援が求められているのか。大教会の秋季大祭神殿講話に「珠洲ひのきしんセンター」の石橋雄一郎先生(寶立分教会長)がリモートで登壇し、そ

の現状について話を進めた。石橋先生は、地震発生から現在までの歩みを細かく説明した上で「これから必要になって来るのは、地域コミュニティーの再建支援」と説明。家屋の解体や仮設住宅での生活から、人付き合いが希薄となり「それが原因で病気のリスクが高まり、災害関連死につながる」とし、「住民同士が仲良くなれるような支援が大切」と述べた。

大教会4代会長夫人／大教会代務者

吉田つる刀自30年祭を大教会祖霊殿で執行

岡大教会4代会長夫人で、大教会の代務者もお勤めになった吉田つる奥様の30年祭が10月24日、大教会祖霊殿でつとめられました。



当日は、大教会世話人の宮

森与一郎本部員斎主のもと、直属教会長をはじめ、部内教会長、ようぼく・信者ら約100人が参集。大教会の内容充実、ようぼくの丹精の上に、神一条につとめきられたつる奥様の在りし日を偲び、苦労の中をも喜び心でお通りになられたご功績にお礼を申し上げます。

写真で振り返る一カ月

10月 October
11月 November

伝供の所作を再確認



神様へのお供え物を、お社の前にお供えする伝供係。その所作を再確認するために、秋季大祭の祭典前に係に当たる先生方が集合。三宝の渡し方や受け取り方、足の運び、立ち回る向きなどについて、細かく確認しました。

姿が見えてきた親神様お社



現在、製作が進められている親神様のお社は、高さ約3・6m、幅が3・5m。お社の土台部分が完成し、現在は柱の製作が進められています。岡大教会創立130周年記念祭まで半年。一つひとつ丁寧に、そして急ピッチで作業が進められています。

別席団参で賑わう詰所



10月25日と26日に実施された、大教会の「別席団参」。前日の24日から3日間の詰所利用者は、のべ185名に。このほか、独自で団参を組んだ教会もあり、たくさんの方で賑わいました。

そんななか、25日には布教部（蓮池弘之部長）が、婦人会などとタイアップして「おかえりカフェ」と「おかえり広場」を実施。「カフェ」ではコーヒーやクレープが用意されたほか、「広場」では焼き鳥や餃子、おでん、生ビールなどが提供され、帰参した皆さんに楽しいひと時を過ごしていただきました。



ホームページをリニューアル

このたび、大教会のホームページがリニューアルされました。素敵な情報が盛りだくさん！ぜひ、ご活用ください。



天理教岡大教会



▲マイケルさんにもをいがけに参加（写真左）。ロシエルさんはようぼくになる誓いを発表した（写真右）。



AUS 布教隊

新たな芽吹きに益々増す布教熱 「海外拠点設立」を胸にコツコツ布教に歩く毎日

教祖百三十年祭に向かう年祭活動一年目に、当時の青年会岡分会が心定めの一つに「海外拠点設立」を掲げて12年。途中、新型コロナウイルスの影響で実動できない年があったものの、今年でオーストラリア布教隊は第10次隊の節目を迎えた。

今回の現地実動は、10月28日から11月13日の17日間。前半期間は主に、布教隊を通じて知り合った方々と面会し、オセアニア出張所で開催された「ようぼく一斉活動日」にも参加した。

この「一斉活動日」には、現地ようぼくのマイケル・キャッシュマンさん（敷津）のほか、10月に初席を運んだロシエル・ウェイクリングさん（岡）家族も参加。現地の方々と共にひのきしんの汗を流し、ねりあいにも参加。代表者3名による感想の発表に選ばれたロシエルさんは、「10月に受けた別席を、私は最後まで運びます」と、ようぼくへの歩みを誓った。

後半期間はゴールドコーストを中心に、戸別訪問、神名流し、路傍講演に歩く毎日。通い先にも足を運び、おさづけの取り次ぎ。また、内陸へと新たな布教地を求めて移動し、連日にをいがけに歩いた。

10年を越える歩みとなったオーストラリア布教隊。布教隊として別席を運ぶ方をお与えいただくなど、新たな芽吹きを頂いている。教祖百四十年祭に向けて、勇みも増している。



▲連日の戸別訪問ではおさづけの取り次ぎも。



▲前オセアニア出張所長の松井先生宅でホームパーティー。布教隊で知り合った方々が集まった。